

事業名	しまね・ツーリズム・プロモーション事業
実施主体	NPO法人 まちづくりビジネス支援ネットワーク
県担当課	地域政策課地域振興室

事業の成果

事業の目的 [観光交流]

- 田舎ツーリズム団体への利用者の拡大。

事業の内容

- 「しまね田舎ツーリズム」PR用DVDを製作し、県内の田舎ツーリズムに取り組む個人、団体を取り上げたほか、島根県が田舎ツーリズムを推進する意義や各地で取り組んでいる人の思い・こだわりなど、印刷媒体等では見えない部分をわかりやすくアピールする内容とした。
- 情報発信ツールとしてWEBサイト「コラボねっと」を立ち上げ、「田舎ツーリズム」の紹介ページにおいて、DVDと同様の映像コンテンツの配信を行った。



目的の達成状況 [概ね達成できた]

- ツーリズム関心のある層には訴求した。田舎ツーリズムを紹介する映像ソフトが製作されたことはこれまでになく、「具体的に様子を伝えることができる」「今後のPRに積極的に利用したい」など好評を得た。
- 一般的な広がりには至っていない。

反省点・改善点

- プロモーションツールの改良。

協働の効果

県との協働内容 [協働して実施した]

- 田舎ツーリズムの実態把握、紹介先団体の選定。

県との協働効果 [十分効果があった]

- ツーリズム団体の受入能力に差が大きく、県の助言がないと、利用者に不満を残すことも想定されたと思う。

県への要望事項 [特にない]

反省点・改善点

- 営業活動時間の確保(仕事との兼ね合いで)。

市町村との協働 [協働しなかった]

- 収益事業につながる PR であり、自治体との協働にはなじまないため

事業の継続

事業成果の活用 [活用されている]

- webサイトでプロモーションビデオを配信、一日400件程度のアクセスがある。

事業の継続状況 [助成を受けて継続実施している]

- 当法人は、中間支援法人であることから、収益性と事業が必ずしも一致しない面がある。
(当年は、民間財団から研究費の助成)

協働による発展 [協働により発展できる]

- 当法人は、県の領域(公)と県民の領域(私)の重なる部分(共)の領域で中間支援にあたっているため、協働が重要なポイントです。

